

オナネタの

義母さんがデリヘル嬢なので

オレは指名しまくることにした

成人向けCG集
基本CG12枚

本編338枚



こひなた みなみ
ミサキ (本名：小日向 美波)

162cm

101/60/94(Jカップ)

良介の義母で、

人妻デリヘルで働いているデリヘル嬢♡

性格はおっとりしていますが、

セックスは激しめ♡

乳首をいじられただけで

イけてしまうほど性欲が強く、

感じてくると母乳が出てきちゃいます♡



そこでオレは
デリヘル嬢が来るのを待っていた。

ラブホの二室



わきあせ
脇汗がヤバイくらい出てる…

夏の暑さのせいだけでなく
興奮のせいもあるだろう。

ここ最近恋人とあまりセックスが
できていないオレはなんとなく
デリヘルサイトを巡っていた。

特に人妻が好きなので人妻系の
デリヘルをいくつか眺めていると
自分好みすぎるデリヘル嬢を見つけた。

気付くとオレはその女性を指名し
ラブホに入っていた。

デリヘルを利用するのは
今日が初めてだ。

オレは高○生だからデリヘルを
楽しんでいい年齢ではない。

バレるとまずいけど
適当にごまかせば
きっと大丈夫だろ…

そう思いながらもう一度
プロフ写真を眺める。



デリヘル嬢の名前はミサキ。

人妻好きで爆乳好きのオレには
たまらない女性だった。



今、付き合っている恋人は同じ年で
ミサキさんほど胸も大きくない

恋人とセックスしている時にも
爆乳の人妻とやりたいと思っ
ていたオレは性欲を抑えられなかつた。

それに何よりオレが
一番良いと思っただのは――

オレのオナネタになっっている
かあ義母さんに似た雰囲気なところだ。

つい先日父さんは義母さんと再婚した
オレは初めて義母さんを見た時、
肉付きの良さ、色気のある顔
そして爆乳を見てガチガチに勃起した。

今日は義母さんのことを思い浮かべながら
デリヘル嬢にエロいことをしてもらおう
そんなことを考えていると――

グン

あ

はーい、開けまーす

ガチャ

…えっ！

そこにいたのは義母さんによく似た女性…
というよりも義母さん本人だった。

か、義母さん？

キーン

…えーつと

そういうプレイ？
それにしても今日は暑いですね

ひ

スルーされてしまった。

似てるだけか？

でも声も同じだし
絶対義母さんじゃん！

ねえ、
義母さんだよな？



んっ!!



ちゅーん...!!

さつきからおち●ち●
パンパンに勃起してるじゃない

エッチなこと
早くしたいんでしょう?

ほら服を脱いで
シャワーを浴びてきて



絡みつくようなキス。

けっこう前から付き合ってる彼女とも
こんな濃厚なキスはしたことがない。

その間に電話だけ
済ませちゃうから……ね♡

返事をすることもできず
オレは黙ってシャワーを
浴びることにした。



大好きな義母さんと
キスをしてしまった…

だがミサキさんは自分が義母さんだと
認めようとはしなかった。

さすがにオレに気づかれないうと
思ってるわけじゃないだろう。

でもオナネタの義母さんと
エロいことをできるのか…

もうすぐ義母さんと
エロいことができる期待感に
チ○コは硬さを増していった。

汗を流しボディソープで身体を洗った後
勃起を収めてからオレは風呂場を出た。

あー

待っててくれたんだ

うん

私が拭いてあげるわ

目の前にはミサキさんの爆乳の谷間
そしてバスタオルで胸や腰を
優しく拭かれたことで
再び勃起してしまった。

じい

立派なおち●ち●してるわね
こんなの初めて見るわ

そ、そう…ありがとう

入れ違いでミサキさんがシャワー室に入る。

すぐにでも生の爆乳を見たかったので
オレもバスタオルを持ってミサキさんが
シャワー室から出てくるのを待った。

ムキムキ

うわっ、でか！

もうっ

あんまりジロジロ見ないの

別にいいじゃん
どうせこの後見るんだし

まあ

…確かにそうね

オレが拭こうか？

大丈夫、ベッドで待ってて



A bedroom scene with a bed, a nightstand, and a lamp. The room is dimly lit with a warm, orange glow from the lamp. The bed has a patterned orange and white coverlet. On the nightstand, there is a green alarm clock, a box of tissues, and a black telephone. A lamp with a white globe is mounted on the wall above the nightstand. The walls are a light pink color, and the floor is a dark brown. A brown sofa is visible on the left side of the frame.

チ●コがはち切れそうなくらい
勃起している。

ミサキさんが義母さんであることの
確認は置いておくことにして、
今を楽しむ方が良いと思った。

ミサキさんが身体を拭き終わると
ずっと前から義母さんにやってほしいと
思っていたことをやってもらうことにした。

すすす

きみって面白い子ね

ふふふ

ちゅわ

こんな爆乳なんだもん
当然でしょ？

うん

これがしたかったの？

ちゅわ

ミサキさんの爆乳を堪能したかったオレは
最初に授乳手コキをしてもらおうことにした。

今の恋人には頼めないからな

それにこんなに胸も
大きくないし…

必死になっちゃって


本当に柔らかい
おっぱいだね

きみのおち●ち●は
すごく硬くなってるわよ♡

ちゅぷぷぷ

ふふふ

すっすっす



オレはこういう爆乳を
しゃぶるのが夢だった
その夢が今日叶うとは思わなかった。

写真通り：いや
写真以上のデリヘル嬢が
来るとは思わなかったからなあ

風俗店の写真は
加工されていることも
あると聞くのでオレは不安だった。

たっぷりしゃぶらせてもらうね

なっ
なっ

うん

好きなだけ吸って、
おっぱいもいいっぱい触って

ずっ
ずっ

おち●ち●は
私が気持ちよくしてあげるからね

ミサキさんはチ○コをしごきつつ
優しく頭も撫でてくれる。

チゅ
ちゅ

ずっと憧れていた授乳手コキは
予想以上に幸福感のあるものだった。

おっぱい美味しい？

うん

すごく美味しい
一生舐めていたいくらい

すっすっすっす

舌で舐め回したり甘噛みしたり
強く吸ってみたりと
思う存分、乳首を味わう。

ぐゅぐゅ

ぐゅぐゅ

同時に空いたもう一つの
おっぱいを揉みしだく。

するるー

ぐゅぐゅ



えっ
……母乳？

うん

そうなの
ちよっと変わった体質で…
気持ちよくなると出ちゃうのよ

嫌なら体位変えるけど…

はぁ♡

いや、全然いいよ
むしろいっぱい飲みたい！

はぁ♡

ふふふ
だったら好きなだけ飲んで♡

んっ、はあ……
飲むの上手ね……

強く吸うと
良いみたいだね

そう……んっ、あ……
気持ちいい♡

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ
んっ

乳首硬くなってきたよ

チュッ



きみのおち●ち●も
もっと硬くなってきたわよ

母乳が美味しいし
ミサキさんの手コキが上手いから

そうなんだ…
優しくやってるのがいいのかな？

そうだと思うよ

でも
それだけじゃ
物足りないわよね…
激しくしてもいい？

うん
お願い



うっ…柔らかい手で
激しくしごかれると

やば…余裕がなくなってきた

んっ♡

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ
んっ

んっ

んっ

んっ





ん
ふふふ
ふふふ
ふふふ

はぁ
Love

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ...

べしべし

すごい...こんなに出るなんて
若いっていいわね♡

はあっ、はあ...けっこう
溜めてたのもあると思うよ

まだこんなに硬い...そうだ

ふふっ



タダで潮吹きのおプション
やってあげましょうか？

えっ…

いったばかりだから
触られただけでも
くすぐったいけど…

ミサキさんがやりたそうにしてる
…ここで潮吹きしたら
褒めてもらえるかもしれない

うん
やってほしい

ズ

いっぱい出るところを見せて♡

ア
っ



いい子いい子……
頑張って♡

はぁ

ニホッ

ニホッ

ん

ん

ん

ニョロ

はぁ





はあぁぁぁぁぁ

ブニッ
アッアッ!
ぐぐぐ



ピュッ...

ピュッ...

よく頑張ったわね

はあっ、はあっ...

たくさん出してくれて
嬉しかったわ
気持ちよかった？

うん
すごく...

ピュッ...
ピュッ...



ふふっ

よかった
まだおち●ち●
ビンビンね♡

もっと気持ちよくしてあげる
でも少しだけ休憩しましょうか♡

休憩には賛成だったので
しばらくそのままの体勢でいた。

乳首を軽く噛み
回の中に母乳を噴射させる
甘くて美味しい母乳を飲んでいるうちに
チ○コは硬さを取り戻していった。

すゅぽ
すゅぽ

ベッドに寝そべるように言われ
その通りにするとミサキさんが
オレの上にまたがってきた。

もしかして騎乗位してくれるのか？
そんな考えをミサキさんに
見抜かれたようで、やんわりと否定される。

ふふふ
デリヘルは本番行為が禁止なの
だから挿入はダメだけど…

素股でいっぱい
気持ちよくしてあげるわね♡



そんなに私のおっぱい、好き？

うん

大好き

触ってるだけで我慢汁出る

そうなんだ
私もきみに触ってもらうと
気持ちいいのよ

お返しに私もきみの乳首
いっぱい触ってあげるね♡

ムン

ん

ん

ん

おち●ち●痛くない？

大丈夫：でも
ちよつとくすぐったいかな
毛が擦れたりしてくるから

もどろ

ッ／＼ッ／＼

ッ／＼ッ／＼

ごめんね：毛がないと
違和感があつて
パイパンにはしてないの

そうなんだ
そういうもんなんだね

ミサキさんは疲れてない？

けっこう汗かいてるから
気になっちゃって

大丈夫
元々汗っかきなのよ

だから今みたいな夏は
脇汗が心配なの

ビバ

ミサ

ミサ

ミサ

ミサ

ミサキさん
いい匂いするよ

シャワーを浴びたからよ

その前にキスしたよね？
その時からいい匂いだったよ

特に何かしてるって
わけじゃないけどね

ミサキさん
ミサキさん

ミサキさん
ミサキさん

ミサキさん
ミサキさん

んっ…

ミサ

ミサキさんも
濡れてきてるね

うん

そうなの…硬いおち●ち●が
クリトリスに擦れて

もわ

んん

んん

あつ、ん…気持ちいい♡

オレも裏筋にクリトリスが
当たって気持ちいいよ

もっと当ててあげる…あんっ！

んん



母乳もどんどん出てくるね

うん

興奮すると

母乳の出がよくなるのよ

プッ

ごめんね
身体びしょびしょにしちゃって

気にしないで
むしろもっとかけて

ビク

ビク

ふふっ

わかったわ♡

プッ

ビク

ビク

すんっ

そうそれ
強くおっぱい握って
母乳が出やすくなるから

ハッ
ハッ

ジュッ
ジュッ

ジュッ

ジュッ
ジュッ

わかった…ミサキさんも
もっとオレの乳首触って

うん
いっぱい触り合いましょう♡

ふふっ
気持ちよさそうな顔
イっちゃいそうなのね？

うん
…そろそろ

ニヤッ

ミサキさんもイきそうなんですよ？
顔が赤くなってるし
マ●コもびしょびしょだよ

グハッ

グハッ

ハッ

ハッ

たっ

いっしょにイきましょう♡

うん



はぁ♡

あ♡

はぁ

はぁ

んっ、
はぁ…そろそろ

うん
…オレも

はぁ♡

はぁ

はぁ

はぁ
はぁ

はぁ

はぁ

はぁ
はぁ

はぁ
はぁ

はぁ♡



はあっ、はあ……

ごめんなさい
気持ちよすぎて
潮吹きちゃった……♡

ううん、ミサキさんも
気持ちよくなってくれて
よかったよ

ドッ
ッ

ドッ
ッ

ドッ
ッ
ッ

ドッ
ッ
ッ

ちょうど時間だね

うん
…こんなに
気持ちよくなれたのは久しぶり

ありがとうね

また指名していい？

…うん、待ってるわ

返答まで「瞬の間があった。

ミサキさんは間違いなく義母さんだ
だからこういうことをするのは
避けたいと思っっているのかもしれない。



何言ってるの...もう

びびる

やっぱり自分の息子と
こういうことするの...嫌?

あっ

チュウッ



これはご褒美♡
私も気持ちよくしてもらえたから

何も言わずに受け取って

デュウッ

ちゃぷんぷん



結局、ミサキさんが義母さんかを
確認することはできなかった。

ラブホの入り回でオレたちは
もう一度キスをしてからその日は別れた。

ミサキさんは絶対に義母さんなのに
それを認めようとしなののは
なぜだろうと思った。





翌朝

フェスティバル

今日はいつもより
遅いんですね

ああ、近くの支社へ
直行の予定だから

それと帰りは
遅くなると思う

わかりました

朝食を家族で一緒に食べるのは久しぶりだ。

...

夏休みをぐうたら過ごしていたオレは
好きな時間に起きて朝食を食べていた
だが今日は父さんの家を出る時間が
遅いため一緒に食べることになったのだ。

…やっぱりまだ慣れないな

義母さんが家に来たのは
一か月ほど前のことだ。

実の母親はオレが記憶もないくらい
幼い時に病気で亡くなった
それ以来オレは父さんと
二人で暮らしていた。

だから家の中に父と自分以外…
それもこんなに美人で
爆乳の義母がいることに
まだ違和感を抱いてしまう。



しかもその義母はデリヘル嬢で
昨日、オレとエロいことをした相手だ
平静を保てているだけでも
オレは自分のことを褒めてやりたい。

デリヘル嬢としてはミサキと名乗り
オレと昨日エロいことをしまくった
義母さんが
普通にご飯を食べている。

目の前にいる義母さんは
昨日のことを
どう思ってるんだろう？

あまりにも自然な義母さんの姿を見ていると
昨日のことが夢の中の出来事だった
かのように思えてしまう。



良介くんの今日の予定は？

この後、バイトだよ

たまには運動もしろよ

部活に入っていないんだから
家でゴロゴロしてたらすぐ太るぞ

別に大丈夫だよ
それじゃごちそうさま

義母さんが同じ空間にいと
昨日のことを思い出して落ち着かない
オレはさつさとバイトへ向かうことにした。

まだ信じてることができない
義母さんと色々と
エツチなことをした事実を。

だがミサキさんの胸を揉んだ感触や
母乳の味、身体のいい匂いまで
はつきりと思い出すことができる。

ヤバムラムラしてきた
これからバイトなのに…

…またミサキさんを
指名しよう

そう思い信号が青になるのを待つ間
ミサキさんが在籍する人妻系デリヘルの
サイトを眺めることにした。



明後日デートしたい…か

…そういえば彼女から
連絡が来てたな



よし絶対に指名しよう

ミサキさんが次に出勤するのは
明後日か…確かバイトもないな

カラオケ

音(0時～) 30分50

本書店
本買取

…予定があると言って
断っておこう

彼女とはいつでも会って
エッチできるし

ミサキさんはそのデリヘル内では
指名ランキング三位とかなり人気だ
出勤しているからといって
予約がいつぱいで呼べない可能性もある。

だからミサキさんを
呼ぶことを優先した。

それに今はミサキさん
…義母さんのことで
頭がいつぱいだっただ。

そして二日後

あら…きみだったのね

また指名してくれてありがとうございます

ラブホの二室でミサキさんを出迎える
やはりどこからどう見ても義母さんで
顔を見ただけでチ○コが硬くなる。

ミサキ

ガ
チャ



オレのこと
覚えてくれてたんだね

それは…うん
私も気持ちよくしてもらったし

それにあんなに
立派なおち●ち●を
めったにいないもの
を持っててる人

覚えていた理由を無理に
絞り出したような雰囲気を感じた

その後、シャワーを浴びて
二人とも準備が整ったので
ミサキさんがタイマーを取り出す。



…オレのことを覚えてたのは
ミサキさんが
義母さんだからじゃないの？

ふふっ
また私のことからかって…
早速始めましょうか

オレの質問には答えず
ミサキさんは濃厚なキスをしてきた。

そしてそのまま彼女は
ソファアーに座るように促し、
既に硬いチ●コを優しく触ってきた。

この続きは、本編でお楽しみください！！

